

冬もやります！ 弟子屈えこパスポート



摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通

今年度で7年目を迎え、多くの利用者の皆さんにご好評をいただいている「弟子屈えこパスポート」を、今年の冬も実施します。パスポートを利用すると、期間中限定運行される2路線のバスと既存の路線バスのうち「市内線・川湯線・屈斜路線」が、2・3・5・7日間乗り放題(乗り降り自由)になります。

利用される方の多くは旅行者の方ですが、地元町民の皆さんのご利用も大歓迎です。冬の摩周湖や屈斜路湖、温泉巡りなど、バスを使ってのんびりと楽しむことができます。パスポートを使うといろいろな割引特典も受けられますので、ぜひご利用ください！

- ▶実施期間 / 1月30日(土)～2月28日(日)の30日間
- ▶有効期間 / 発行した日から2日間、3日間、5日間、7日間
- ▶運賃 / 2日間:大人1,500円(12歳以上) 子ども 500円(6歳以上12歳未満)
3日間:大人2,000円(12歳以上) 子ども 700円(6歳以上12歳未満)
5日間:大人2,500円(12歳以上) 子ども1,000円(6歳以上12歳未満)
7日間:大人3,000円(12歳以上) 子ども1,200円(6歳以上12歳未満)

▶発券窓口 / JR摩周駅観光案内所・ツーリズムてしかが
※問い合わせ先 / 榎ツーリズムてしかが ☎483-2101

- ▶有効区間
 - 期間限定バス / ①摩周駅～道の駅～摩周湖第1展望台(1日4便) ※1便目はジャンボタクシーによる運行
②川湯温泉駅～川湯市街～砂湯～コタン～摩周駅(1日3便)
 - 定期路線バス / 市内線・川湯線・屈斜路線

時刻表、特典などのえこパスポートに関する詳しい情報は
ホームページ(<http://www.eco-passport.net>)でご確認いただけます！
役場にもこれらの資料がありますので、お問い合わせください。

問い合わせ先 / 役場環境生活課生活係 ☎482-2934 (課直通)

伝染性紅斑(りんご病)が流行しています

釧路管内で伝染性紅斑(りんご病)が、はやっています。
冬期間は感染症や風邪にかかりやすい時期です。感染予防のため、うがいや手洗いなどを心がけましょう。

- ▶りんご病とは
 - ヒトパルボウイルスB19が原因の感染症です。
 - 幼児や児童がかかりやすく、飛沫・接触感染(咳をしたときのしぶきや接触)により感染します。潜伏期間(10～20日)は軽い風邪症状が見られ、この時期が最も感染力が強いといわれています。その後、両ほほ・腕・足にレース状の赤い発疹を生じます。発疹は1週間前後で消えますが、中には症状が長引いたり、一度消えた発疹が短期間のうちに再び現れたりする可能性もあります。成人の方には、しばしば関節痛が見られます。
 - 妊婦の方が感染した場合、まれに胎児の異常や流産の危険性があります。
- ▶感染予防
 - 一般的な感染予防「手洗い」「うがい」「マスクの着用」を行いましょう。
 - ※伝染性紅斑(りんご病)の予防接種はありません。

問い合わせ先 / 役場健康推進課健康推進係 ☎482-2935 (課直通)

皆様のご来校をお待ちしています！

弟子屈小学校 地域公開参観日

1月23日(土)

授業公開時間(ご自由に参観ください)

1～4時間目(各教科) 8:40～12:10

5時間目 (道徳) 13:05～13:50

- ※ご来校の際には、上靴を必ずご持参くださるようお願いいたします。
- ※体育館横の駐車場は使用できません。役場か修武館の駐車場をご利用くださるようお願いいたします。
- ※特別な事情により体育館横の駐車場使用を希望される方は、事前に学校(教頭)までご連絡ください。

問い合わせ先 / 弟子屈小学校 ☎482-2044



アイヌの自然視 エゾフクロウ

クンネ・レク・カムイ(夜・鳴く・神)



シマフクロウほどではないにしても、近年は営巣に適した環境の減少に伴って、生息数の減少が懸念されているエゾフクロウ。アイヌの人たちは、この鳥が夜に鳴くのは自分たちに獲物となるヒグマの居所を教えるためと信じていました。聞こえてくる方角をしっかりと覚えておき、朝になったら追いかけて行ったとか。科学的根拠は不明ですが、もしかして昨夏、エゾフクロウは町内で一生懸命鳴いてくれたのかも？



夜の自然探勝路に現れたキタキツネたち

動く対象物から発せられる赤外線熱を検知するセンサーが、夜間も活躍してくれるのが、自動撮影カメラ(センサーカメラ)です。

野生動物の自然な姿に会いに来ませんか

野生動物たちの自然な姿を撮ることは、なかなかできません。私たちが歩いている道を、夜間は同じように動物たちが利用しているのを知ることができ、自動撮影カメラのおかげです。群れで歩くエゾシカ、じゃれ合うキタキツネなど、したたかにたくましく、そしてかわいく写っている様子には、思わず笑みがこぼれます。

画像は当センターに展示してありますので、ぜひ一度、ご覧になってみてください。

野生動物たちの自然な姿を撮ることは、なかなかできません。私たちが歩いている道を、夜間は同じように動物たちが利用しているのを知ることができ、自動撮影カメラのおかげです。群れで歩くエゾシカ、じゃれ合うキタキツネなど、したたかにたくましく、そしてかわいく写っている様子には、思わず笑みがこぼれます。

人の気配が感じられない分、野生動物たちの自然な姿を撮ることは、なかなかできません。私たちが歩いている道を、夜間は同じように動物たちが利用しているのを知ることができ、自動撮影カメラのおかげです。群れで歩くエゾシカ、じゃれ合うキタキツネなど、したたかにたくましく、そしてかわいく写っている様子には、思わず笑みがこぼれます。

EMC通信

～川湯の森から～

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100

URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 1月は9:00～16:00開館(水曜日、12/29(火)～1/3(日)休館)